令和四年三月十九日(土)

自 由 詠

でも あるのかもしれない それぞれの正義が あるはずがない 奪われてよい命など

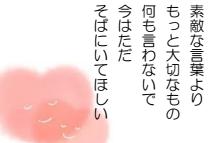


杉下 啓惠

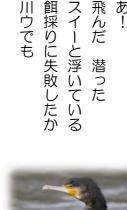


光るのは だけではない 陽をあびるとき いっそう光る草たち 雨にぬれて

岡本 まさ子







川ウでも

飛んだ

杉本 明美

題 詠 芽

心の芽は 伸ばしたりバネにしたり 摘まないで やさしさの芽 くやしさの芽



強い気持ちで育てなくては 私たちは「平和の芽」 戦争好き 決して無くならない どんなに悲惨な過去があっても

高原 美智子



膨らみ始め 木々の新芽が 春をキャッチした さぁ~私達も闊歩しよう 周りが明るくなる 玉田 久美子

生きていたんだ 米粒のような蕾 梅の木に ここ10年実のならない ずーっと生きていたんだ

宮島 かつえ



出てくる

あちらから、

こちらから

出てくる

杉下 啓惠

命を継ぐ植物の営み